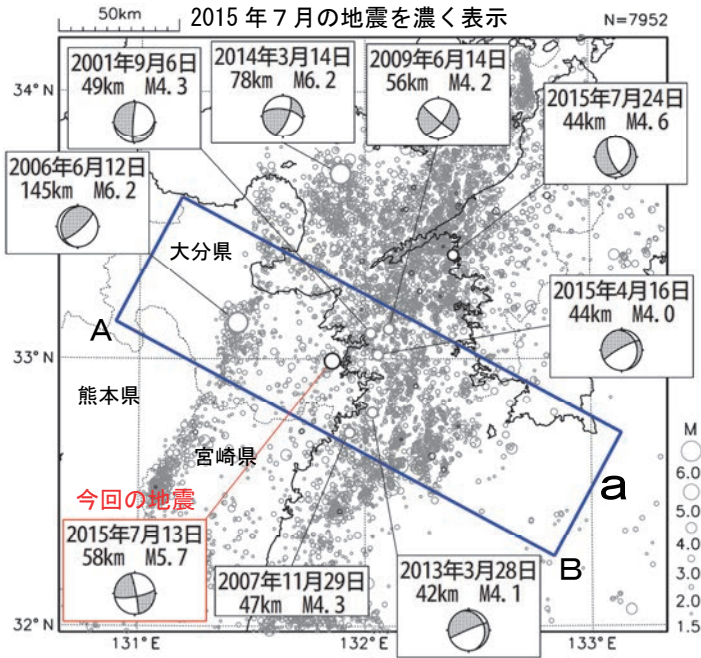
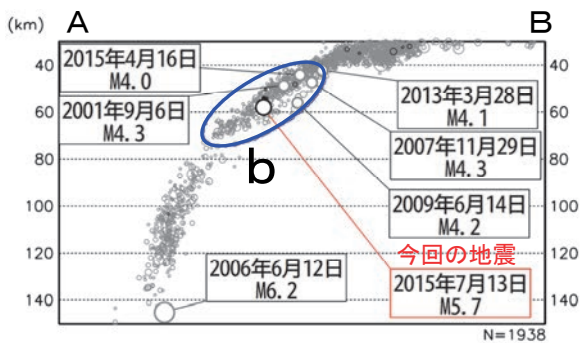


# 7 月 13 日 大分県南部の地震

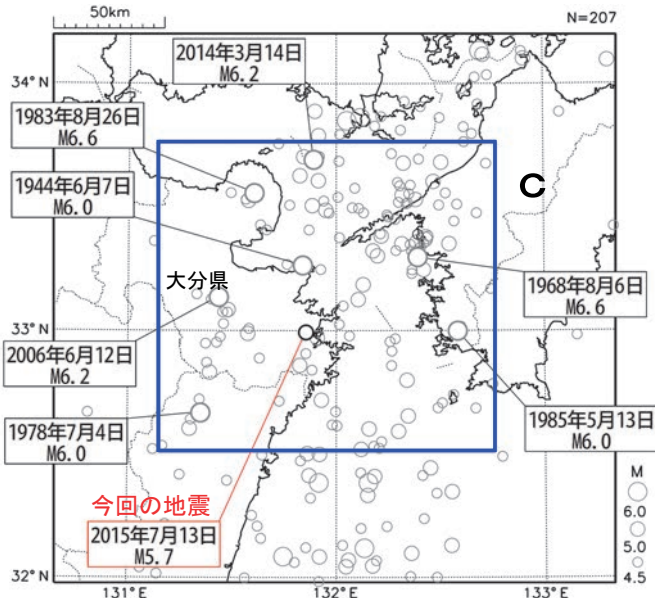
震央分布図  
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 7 月 31 日、  
深さ 30～150km、 $M \geq 1.5$ )



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



震央分布図  
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 7 月 31 日、  
深さ 30～150km、 $M \geq 4.5$ )

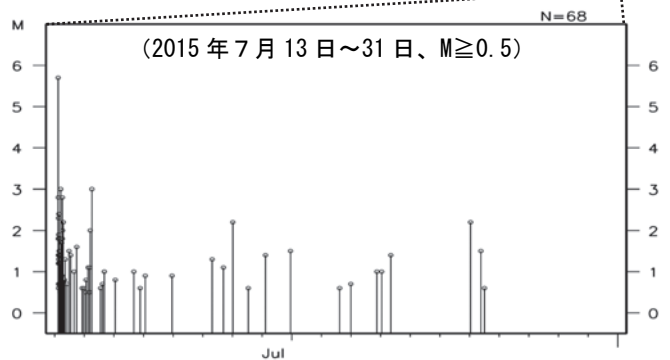
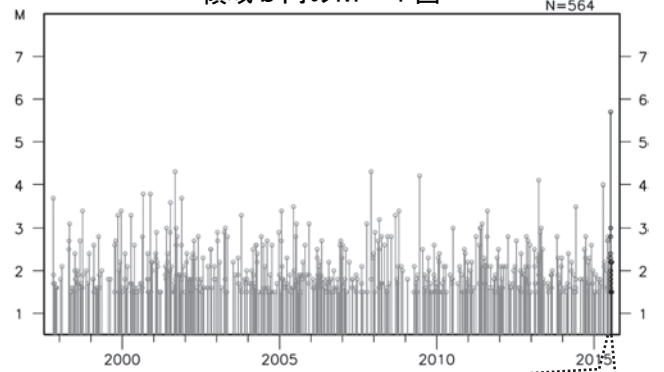


2015 年 7 月 13 日 02 時 52 分に大分県南部の深さ 58km で M5.7 の地震 (最大震度 5 強) が発生した。この地震は、発震機構が北西-南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。この地震により、大分県で負傷者 3 人、住家一部破損 3 棟などの被害を生じた (総務省消防庁による)。今回の地震の震源付近ではその後も活動が見られるが、余震活動は低調に経過している。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、これまで M5.0 以上の地震は発生していなかった。

1923 年 1 月以降の活動を見ると今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が 7 回発生している。2014 年 3 月 14 日に発生した M6.2 の地震 (最大震度 5 強) では、負傷者 21 人、住家一部破損 57 棟などの被害を生じた。また、2006 年 6 月 12 日に発生した M6.2 の地震 (最大震度 5 弱) では、負傷者 8 人、住家一部破損 5 棟の被害を生じた (被害は総務省消防庁による)。

領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図

